街並みテクテク No.7：新井薬師前駅～中野駅（2023-6-18）

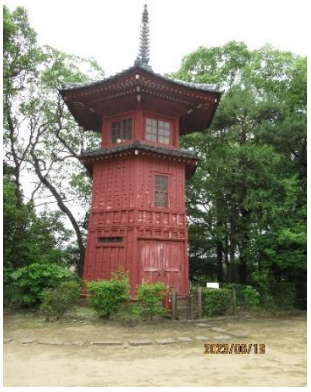
参加者：芦田拓也、碇貴臣、太田哲夫、後藤充伯、佐熊範和、庄子房次、染谷ﾐﾄﾞﾘ、高野泰三郎、黛政男、三木和幸、矢﨑文彦、山岸任、木村芳一（計 13 名）

行程：新井薬師前駅～中野駅　約 6km
新井薬師前駅→哲学堂公園→水の塔公園→蓮華寺→氷川神社→北野神社→新井薬師→ブロードウェイ→サンモール→犬屋敷跡の碑（中野区役所）→四季の森公園→中野駅

・今回テクテクは、哲学の片鱗に触れる所から、サブカルチャの聖地と言われる所まで実施しました。比較的早く歩き終わり、中野駅北口の居酒屋で 15 時から懇親会を始めることになりました。大変な盛り上がりでした。
・哲学堂公園は、哲学者である、東洋大学の創立者・井上円了によって創設されたもので、公園内には四聖堂（孔子、釈迦、ソクラテス、カント）、三学亭（平田篤胤、林羅山、釈凝然）、六賢台（荘子、朱子、龍樹、迦比羅仙、聖徳太子、菅原道真）、無尽蔵（博物館）、宇宙館（講義室）、絶対城（図書館）などの建物が点在し、哲学世界を視覚的に表現した個性的な公園です。
・鉄筋コンクリート製の“水の塔”は関東大震災後に水の需要に応じるために設立され、多摩川から引水された給水場でしたが、現在は災害用給水槽として機能しています。
・江戸時代、現在の中野駅周辺は鷹狩の場であったが、3 代将軍徳川綱吉は四季の森公園付近（旧地名：囲町）に 30 万坪の囲い（犬小屋）を作り、数万の犬を養育したそうです。また 8 代将軍徳川吉宗は気に入った場所に桃の木を植えさせ、花見を行ったと言われ、その名残が、桃園、桃花、桃が丘という地名に残されています。最近では、サンモール商店街、サンプラザ、ブロードウェイ（アニメ・サブカルの聖地）、セントラルパーク、大学（明治大学、帝京平成大学）等が次々と設けられました。来年にはサンプラザが解体され、中野区役所が移転され、さらに駅が改築されるのに伴い、周辺の更なる開発が計画されているようです。50 年近く前から中野をときどき訪れるのですが、中野の変化にいつも驚かされています。

（木村芳一）

西武新宿線・新井薬師前駅にて



哲学堂の六賢台

哲学堂の宇宙館

氷川神社にて

新井薬師の山門

中野区役所前の犬屋敷跡の碑